

大崎町で活躍しています ✨ vol.12



介護の現場で活躍するメイさん、ノーさん、マウンさん取材しました！

サンセリテのがたで働くミャンマー出身のメイさん、ノーさん、マウンさん。メイさんは日本に来て3年目、ノーさんとマウンさんは5年目を迎えています。また、ノーさんとマウンさんは昨年にご結婚された夫婦でもあるそうです！来日のきっかけは、メイさんは元々、日本語の勉強をしており、日本で働いて様々な経験を積みたいという思いから来日し、ノーさんとマウンさんは母国でも介護の仕事に従事しており、日本の技術を学びたいという思いから来日しました。

● 大崎町での生活

大崎町での生活について、困っていることがあれば助けてくれたり、会社がいり物のために車を出してくれたりと、人々に温かみがあると話します。また、3人は日本の文化にも興味を持っており、食べ物ではたこ焼き、ラーメン、とんかつが大好きとのこと。野方の夏祭りの時には、浴衣を着る機会もあったそうで、とても明るい気持ちになりましたと話します。

● 今後の目標

今後の目標について、技能実習のメイさんは特定技能を取得し、より多くの経験を積みたいという思いを持っています。ノーさんとマウンさんはゆくゆくは日本で子どもを産み育てたいという思いを持っており、在留期間の更新が可能で家族の帯同も認められている介護ビザへ変更することを目標としています。3人は目標の達成に向けて、休みにもオンラインで授業を受けているそうです。皆さんの努力と情熱は、地域に新たな風を吹き込み、大崎町の介護の現場においても大きな貢献を果たしています。



写真撮影の際には同僚で同じくミャンマー出身のピョーさん、レーさん、ヨンさんも駆けつけてくれました。

多文化共生サポーターを募集しています！

興味のある方は、右の二次元コードから登録をお願いします。



問 企画政策課

共生協働係 (221)

「きっかけは、声掛けから！」

町の歩み

町史編さんだより

vol.13

【お問い合わせ先】

社会教育課 文化公民館係(421)

令和6年12月24日に第4回編さん委員会が開催されました。株式会社ぎょうせい九州支社の方からは、これまで編さん委員会で仮に作成していた町史の目次構成案をさらにブラッシュアップして作成した新たな目次構成案が提示され、これについて検討し、「編」「章」「項」までの構成や表題について最終案をまとめました。ただし、細かな小見出しである「節」については、今後の調査の進捗で柔軟に対応することにしました。

今後は編さん委員会や株式会社ぎょうせい九州支社の方で原稿執筆をするうえでの裏付け調査や原稿の監修で役場各課、各担当の協力体制を構築することにしました。

また、前回の編さん委員会では町史編さんにおいて専門的知識を必要とする部分については、有識者による執筆を依頼することで決定いたしました。今回は具体的に原稿執筆謝金についても協議しました。

令和7年度はいよいよ原稿執筆の年になりますが、本年度の残り期間でできるだけ情報を集めていきたいと思っております。次回の編さんだよりから目次構成について紹介していきます。

大崎町史編纂委員会事務局 内村・吉原 (大崎町中央公民館1階 社会教育課)
〒899-7305 曾於郡大崎町仮宿1029番地 ☎476-1111 (421・422)